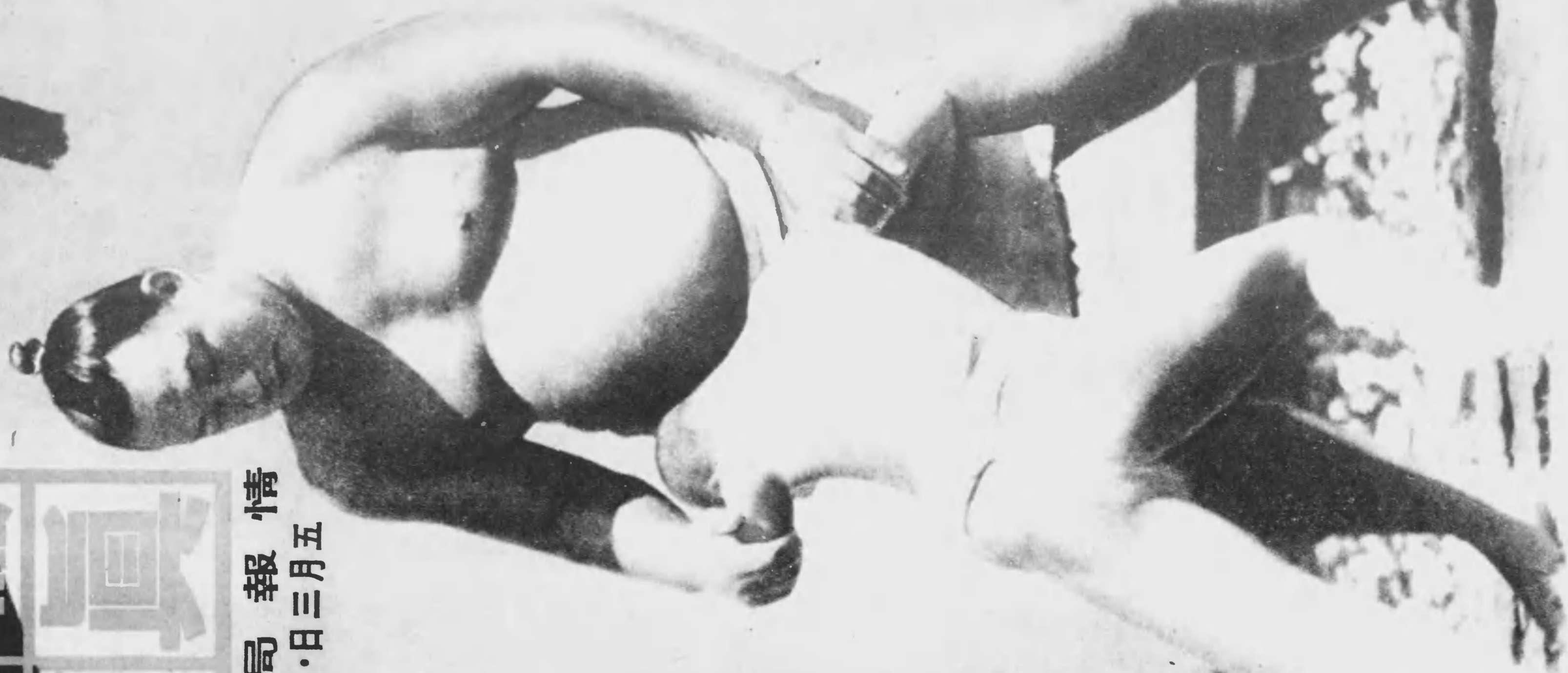


0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2

時 立 札

五月の空に手を伸ばせ  
緑の風に胸を張れ  
強いからだ 明るい心  
勝ち抜く力がぐんと湧くぞ



週 報 眞 實

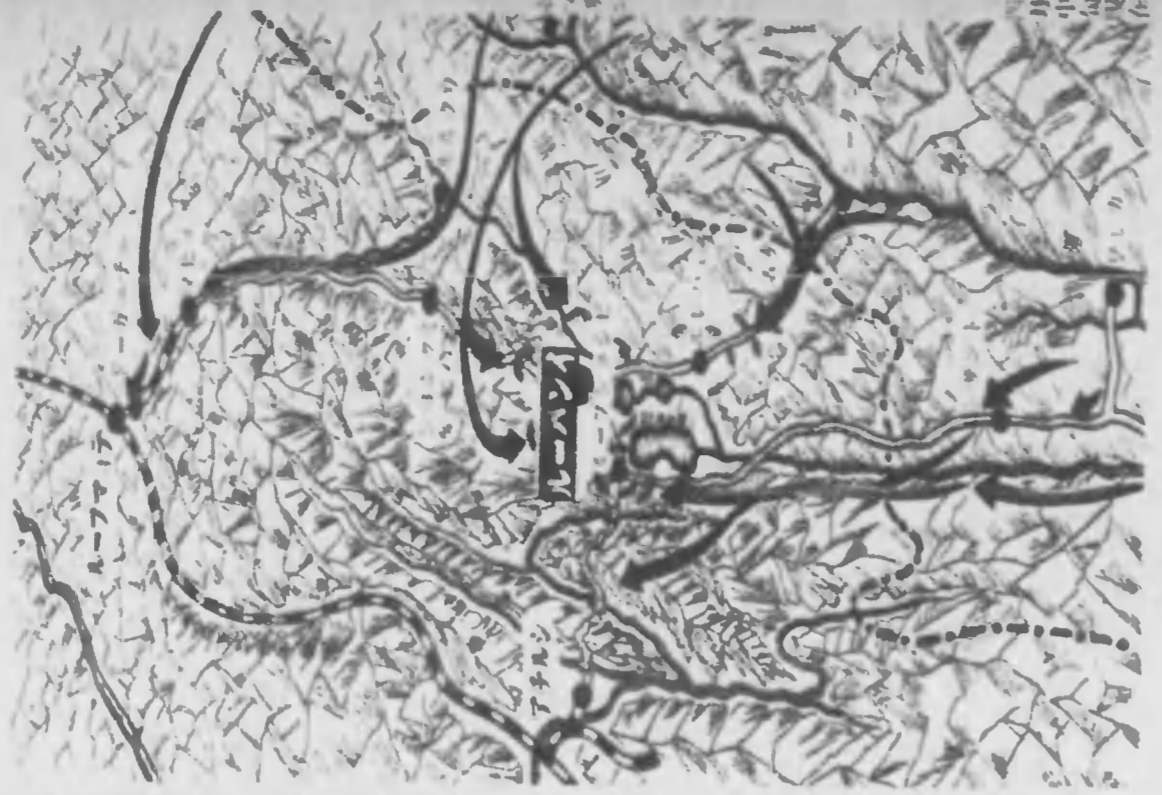
情 報 局 編 輯

五 月 三 日 第 三 一 九 號

元組に巨體の山葉双綱  
児童の學校國民濱磯城茨



# 全印の戦況



## 一、印緬國境交通路の概要

印緬國境にはバートカイ山脈、チン丘陵、アラカン山系等の地帯が横たわり、その陸上交通は地勢上トドからフリーコン地帯を経てミートキーナに出る北方の所謂レド公路、インパール平野からカレワ附近に出る中部交通路及び海岸に沿ひアキヤンに出る局部交通路の三つに限られてゐる。従つて國境附近の攻防戦は以上三方面で起るのことは當然と言ひうる。

一昨年自軍に追ひまくられた敵が退却したのもやはりこの三方面で、爾後我軍が追ひつて大戦雲を帯びて来た。

## 二、インパール作戦の起るまで

以上の情勢下で最も交通の便利な南方海岸方面で、先づ戦線の動いたのも當然といへよう。緬甸軍を呼喚すること久しかつた敵が、マウントペワテンの東南アジア軍司令官就任直後起つたアキヤン軍団作戦は、昨年の春にはゆるアラカンの急襲として終止符が打たれた。

ついで進軍を開始した英江正西軍軍に對し戦を見るに敵は自軍は昨年十月上旬から先制攻撃を遂行、之に鋼鐵を加へた。かくて同方面の總司令陣は退却するの止むなきに至り、その策動は露見されたわけである。

さらに十月上旬以来フリーコン地帯に突出して来てレド公路の打斷に躍起になつてゐる英印軍及び英米海軍艦隊に對して引續き防衛に出る作戦を實施しつつある。

本年に入つて再び勢を張り返して来た敵は南方方面ブダオン、モンゴウ方面の敵に對して二月上旬東勢を勃発した。敵は英印第七師團主力をクワンヤウ谷間に捕縛してアラカンの進軍を断絶し、この方面に第十五軍團の全力を引寄せ、次を起つたインパール作戦の開始を遂行し、相次つて進軍引續き進軍は有利に展開しつつある。

これに對してカラダン河谷を南下して英大内隊第八十一師團に對する攻撃も既に既述

に近く、且つ(四月中旬)その敵をバレットワに向ひ進軍中で、特にこの方面における印度國民軍の勇戦は稱賛に値するものがある。

## 三、インパール作戦

一昨年の緬甸急襲作戦で中部印緬國境方面に逃げ込んだ敵は、その後、敵軍補給を妨害すると共に兵力を増強し、インパール、ペレム等には航空基地をも建設して逐次行動は活発化して来た。これに對して自軍は三月上旬自軍の開始し、印度國民軍と共に英々印度軍の大進軍を切つた。しかも、その作戦發起は二つの段階に分れてゐる。即ち三月八日トランサン、カム正南から行動を起し、



敵は陣地を放棄するどころもなく退却し、我軍は追つて陣地に迫る我が勇士

該方面にインパール方面の英印第四軍團を率領し、次で三月十五日更に兵力を加強し、敵を以て其の北方マラン南北の線で、突如チンドクイン河を急襲し、敵の意表をつきソムラ高嶺地帯の陣地を崩壊して、四月六日には早くもインパール平野に突進した。四月六日には早くもインパール平野に突進した。四月六日には早くもインパール平野に突進した。

現在(四月中旬)インパール平野には英印第四軍團の第十七、第二十、第二十三、師團及びその急進に導き付けた第四十二師團の四師團が完全に陣地を築いたが、他國境内にあり、コヒマを占領した自軍は既にアラマアト平野の陣地を崩壊してアラマア、メンガル地帯を指す間に進軍してゐる。大勢既に決したのであるが、インパール平野の防衛陣地は敵が天候の悪化に二年有半の日を費し、幾々構築したもので、自軍の同年進軍出までの力もさることながら、進軍後も敵が續くものと見なければならぬ。

## 四、北緬陸軍部隊に對する作戦

自軍はレド公路の早急な進軍が、後方部隊を三月下旬以来カキマ四師團にクワイアで交通路を断つせしめ、緬甸印軍を導き出してこれを捕縛に任せ、四月中旬にはその兵力一萬を奪取るに至つた。

## 五、印緬國境の雨期と作戦との關係

印緬國境方面は連年雨期に入る。雨期には各方面とも作戦行動を大に阻害せられる。本格的雨期は半年にあつてはフリーコン地帯は五月末、インパール附近は四月末、海岸方面は五月下旬からとなつてゐる。

しかし幸ひにもインパール平野に對する我が方の爲にはチンドクイン河の結核があり、カレワ附近からは敵の作つてくれた道路により補給には大して支障がない。

これに反しフリーコン地帯の敵に對しては、同地帯は泥濘化し作戦行動が不可能なだけでなく、陣地からの補給が困難するのは勿論、雨期までには多少の軍需品は準備するであらうが、敵は進軍すればするほど苦しくなつて来るわけである。

## 六、マウントペワテンに残された道

かく見て来るとマウントペワテンに残された道は海軍作戦しかないといへる。いふまでもなく敵はコマンド部隊の出身であり、最近

その司令部をタリリからセイロン島に移したといふ。アキヤン附近海岸、ニコバル、アン



タリリ軍に對する敵の偵察行動が最近連次活発化して来たのも事實である。

しかし印度洋は南太平洋と異なり、島嶼に乏しい。昔は海軍は海軍作戦のために利用すべき陸上基地が多い。敵等が先づアキヤン軍団を全滅したのも、海軍作戦を貫徹せしめ、海軍三隻艦隊を派し、マリス軍艦を派遣し、インド國民軍が近くは緬甸の境、領土山河いざ、チャロ、チャロ

んとする訓練だつたとも見得る。各陸地に強力な航空基地を展開してゐる我軍に對し、敵が海上機動部隊のみを以て上陸を企圖するも、たやすく成功すると思はれない。

しかしながら現地のわが部隊は凡ゆる事柄に備へ、待つあるを待たず進軍することには勿論である。

## 七、インパール作戦の意義

緬甸軍団作戦の不成功、とくにインパール作戦に對する反響は、最近とみに表面化し、英米將相互の論議も露骨化して来た。今インパールの死命を懸せられ、アラマ、ベンガル地帯はわが軍の脅威に晒され、スチルウェル地帯のフリーコン地帯の敵部隊、在英米第十四航空軍の補給を断たれんとして敵の進軍は阻むべくもない。

印度國民軍の豪々たる祖國への進軍、ボース首班の二次に亘る聲明等により印度國內の情勢は騒然たるものがある。議會に於ては増徴案その他を擧げ、さる十四日にはボンベイ船中の船員の大規模な暴動あり、マダガスカルは各地に暴動せんとする風潮あり、アラマ、ベンガル地帯の守備に英兵を以て置き換へられた。それにもまして密國の印度解放に對する公正な態度は大東亞宣言の實踐に外ならず、大きな反響を呼びつゝある。

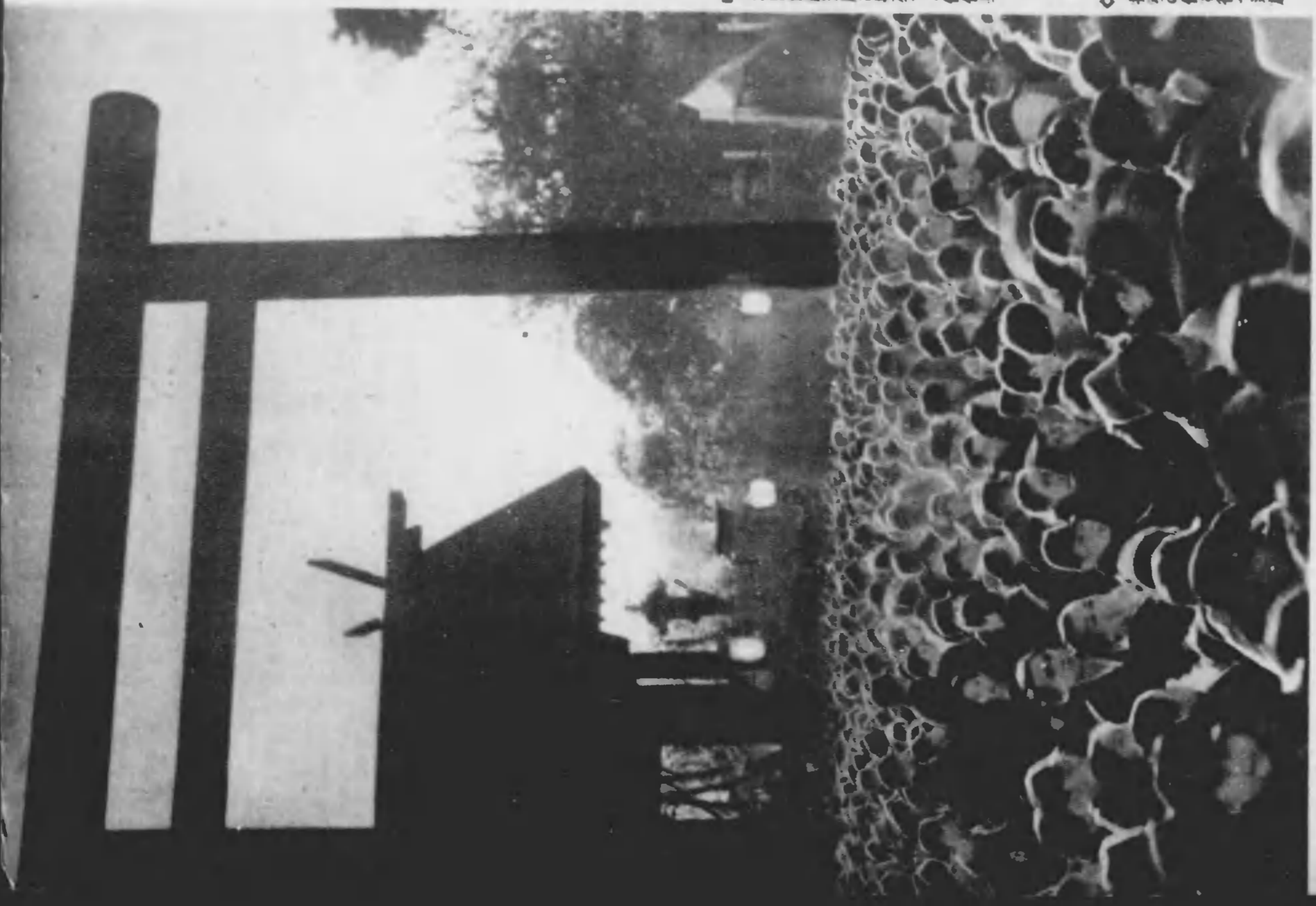
敵國側と雖もこの事實の語には目を覆ふわけには行かない。

大本營陸軍報道部



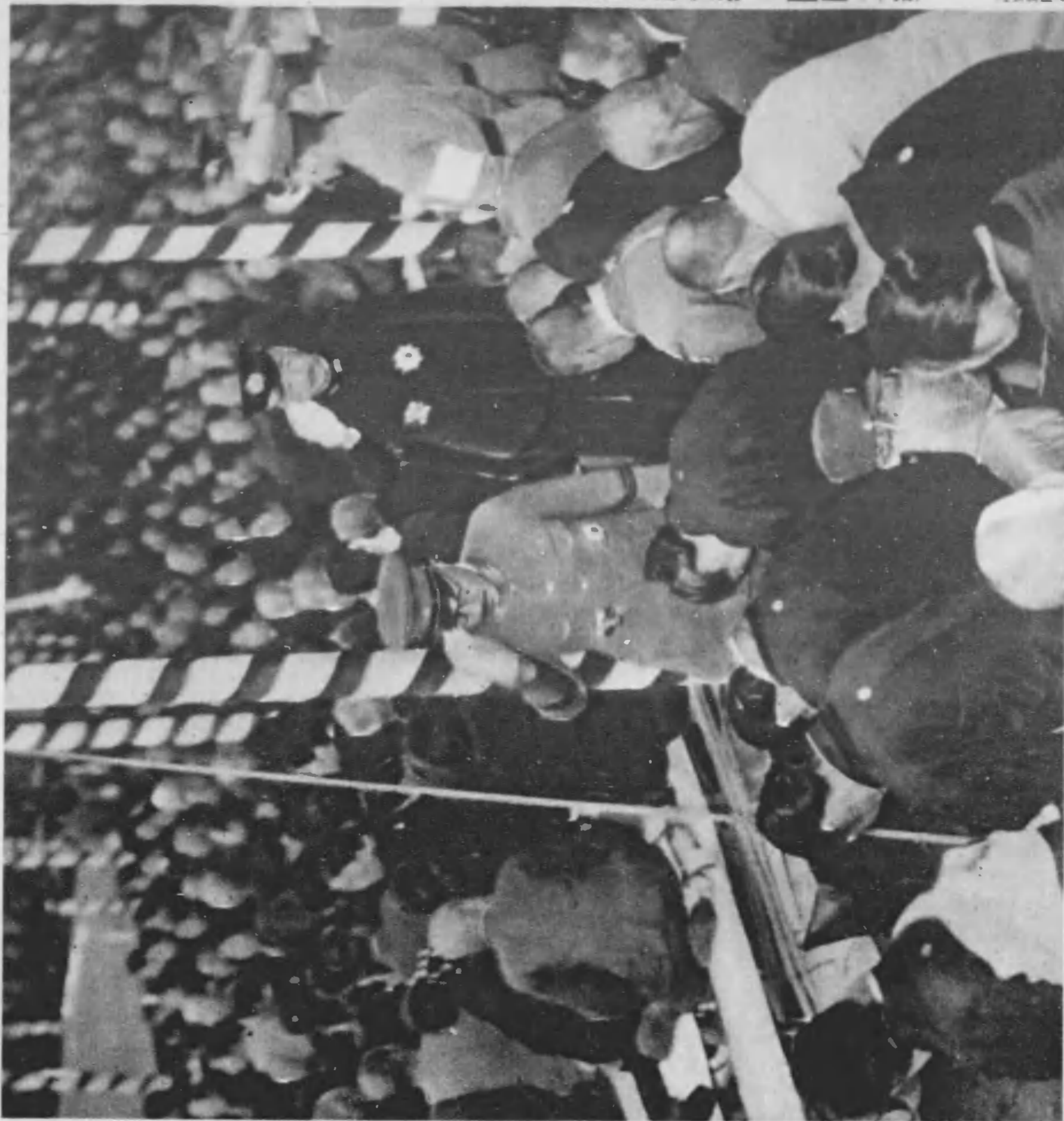


外陣神武天皇に参列する儀仗兵 相模の儀を持つ運兵



靖國のみやしろ深く  
英魂二万五柱新たに神鎮まる  
靖國神社春の臨時大祭

東京朝日新聞社  
昭和十一年四月  
東京朝日新聞社  
東京朝日新聞社



相模の儀に参立、それと各集會場所の運兵に接する東條陸軍大臣、島田海軍大臣

通問記

四月十七日、比島獨立に對する謝罪の表明と目撃、若徳さかりに放つて勇武四海に轟く × 大東亞戰下五たび迎へた靖國神社春臨時大祭  
比親善強化のため、國會議長ベニグノ・エセ、 × 四月二十三日相模の儀に引續き儀仗隊を  
アキノ氏が特派大使として來朝した。大東亞戰 四月十九日、敵機動部隊突如スマトラ島に上陸す 靖國の神域に参り行はれた。新祭神二萬五柱、  
争の完遂を目指して、日比の契はますます固い を空襲し、わが所在部隊の補給をうけた。東條 旗幟下特に参列の遺族の上にかかりさせ給ふ聖座  
× 印度の政變を擁護せんとする敵英勳隊の一策、 ともよりわが儀へは禮儀であるが、執拗な儀の ほどとも深く東條陸軍に對して武勳永に譽  
参り来る敵軍に受續もるとも觀望りを敢行す

# 戦空防の家がわ

馬暗い夜空をきつて、照  
空煙が交錯する。うわん  
くと、敵機機の爆音が近づ  
いて来る。高射砲弾の物凄  
い唸りと炸裂。どかーん、  
どかーん。地軸をゆする敵  
の爆弾、爆風に建物はゆら  
ぐ、瓦は落ちる……  
これは、近くわたしたち  
が必ず経験しなければなら  
ぬ現実です  
さうだ。空襲は必至だ  
用意はよいか。心構へは  
できてゐるか。わが身、わ  
が家の防空態勢は完全か

何時敵機が来ても、この位のことは迅速、確實に出来るよう  
それぐわが家の防空訓練計畫を樹て、必ず實施しませう

## 意用のんだふ

**水**——十五坪未満の建物は百リットル  
(約五斗五升)以上、十五坪以上なら約十  
坪につき五十リットル(約二斗八升)の備  
ひ増やす。水道の水は経路が露分され  
れば使はなから、と定んからあらゆる容  
器に水をためておき、使用に便料の所に配置  
する

**防火用資材**——砂または土五十リット  
ル(約二斗八升)以上を測つて捨ける分と  
袋に入れて捨ける分(二升づつ)に分  
けておく。煙、火の風扇、注水用ベケウ  
カ手桶、シャベルか鍬、火叩き、雷口(な  
ければ長棒)木柄杓など

**待避所**——いつでも使へるやうに、悪い  
場所を直しておく。深さはしやがんで頭の上  
が三十センチ(約一尺)位あく程度。開放  
式なら上に傘を置くか蒲團などを渡つたり  
して落下物を防ぐ

**家屋内外の整理**——押入、戸棚等の雜  
物をし履掛、床下にある燃え易い物を片  
付けておき、なるべく隣家との通路を通る

**家族の用意**  
防火會制用具、防火、煙火管制などにつ  
いて家族の任務を定めておく、主人外出中  
の時の指圖ははつきり、指圖に示しておく

## 防空用服装

白い着地、または紙片、及びほろ  
ろ人な履物とあり合せのものを買  
ハセツテ、袖六センチくらゐにし  
て作る。暑風なら上着の上で縫り  
の裏返しつかり縫付け、また紙や  
材料ならば、ホチキスで縫ひ  
ておく

氏名	年齢
住所	
職業	
備考	



## 袋常非

非常袋の重さは大人なら十キロ  
(約二貫五百匁)子供なら五キロ  
(約一貫二百匁)以内とし、必ず  
住所氏名のついた名札をつける  
非常袋にはランドセルかリュック  
バックを備ふか、風呂敷なら紐を  
つけ背負へるやうにする

必ず入れておきたいもの

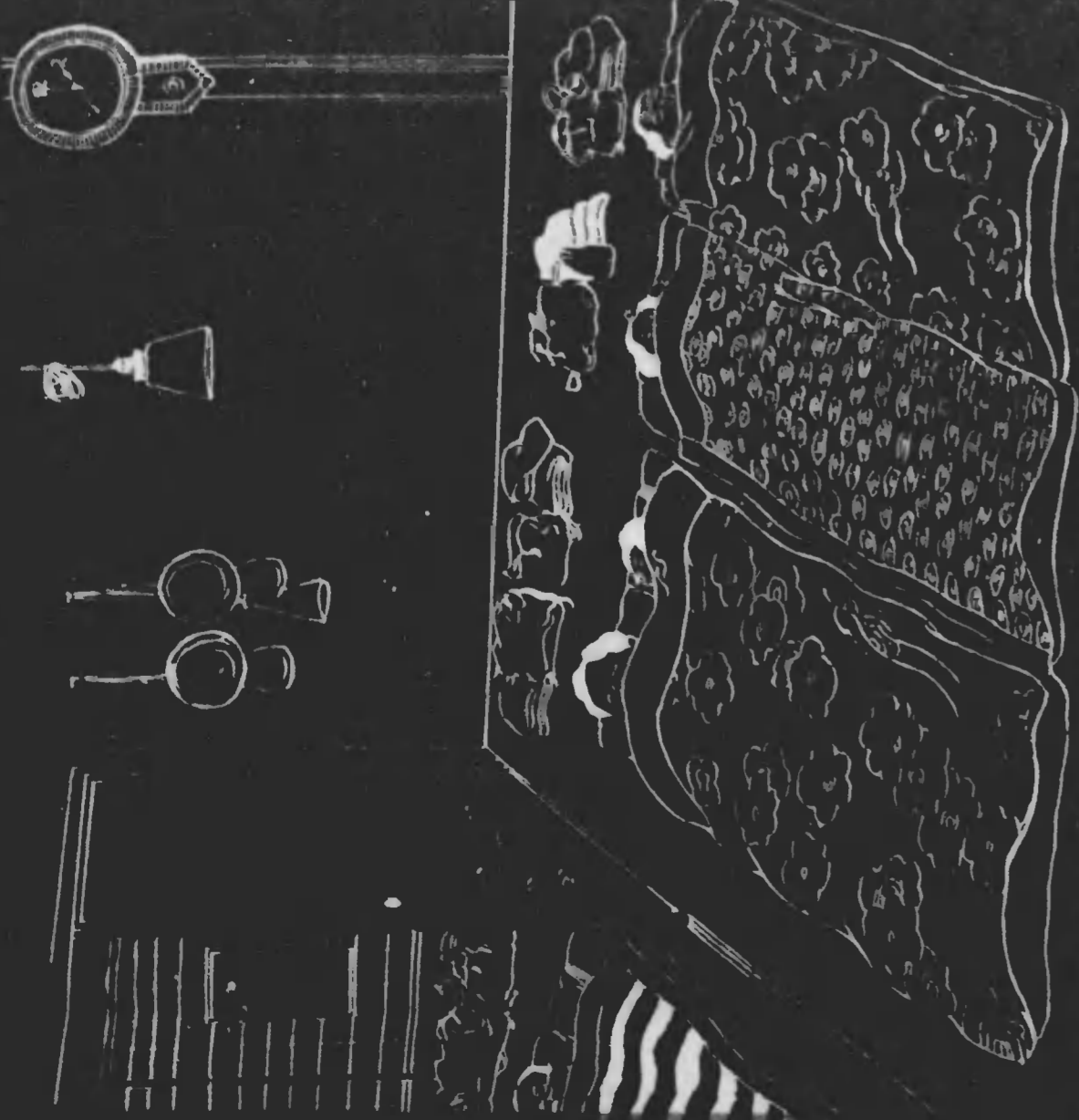
その他出来れば入れておく

提灯、商標子、鉛筆、薬書、手帳  
水筒、懐中電(乳児用)など  
油紙、三角布、備用ガーター、股  
指綿など  
機織、襪、履、おむつなど

重要書類、印鑑、針、糸、鉄類は  
それぐ一まとりとして小さい袋  
に入れておく  
救急資材は別に一まとりとして携  
行してもよい。米は一人につき二  
日分位(約五合)米袋に入れる



## 午前二時空襲警報發令



おばあさんは

ぼくたちは

坊やも、目を醒ませ。空襲だ。それ、防空服  
着ろ。頭巾をかぶれ。急げ！急げ！

まづ、飛煙になる寝床を片付けよう  
これはお母さんの交代ち

火元の始末が肝心。おばあさんはもう一度念  
入りと断念

ガスは元栓をしめる

ボースがあれば、水道の蛇口はしつかり取り  
つける

襲來機敵

待避！  
待避！



それ、待避だ。敵が片方ないワ。手探りではなかく見つかからない……こんなことのないやうに、消滅するだ  
 ▶ 屋内を整理し、機銃などもきちんと揃えておくこと



恐れず、あわてず。機銃に。ほれ、悪い。敵はつまづいた……空襲の被害もさることだが、こんなことのないやうに、消滅するだ  
 ▶ 外傷も多いと考へられる。ふだんの訓練が大切だ



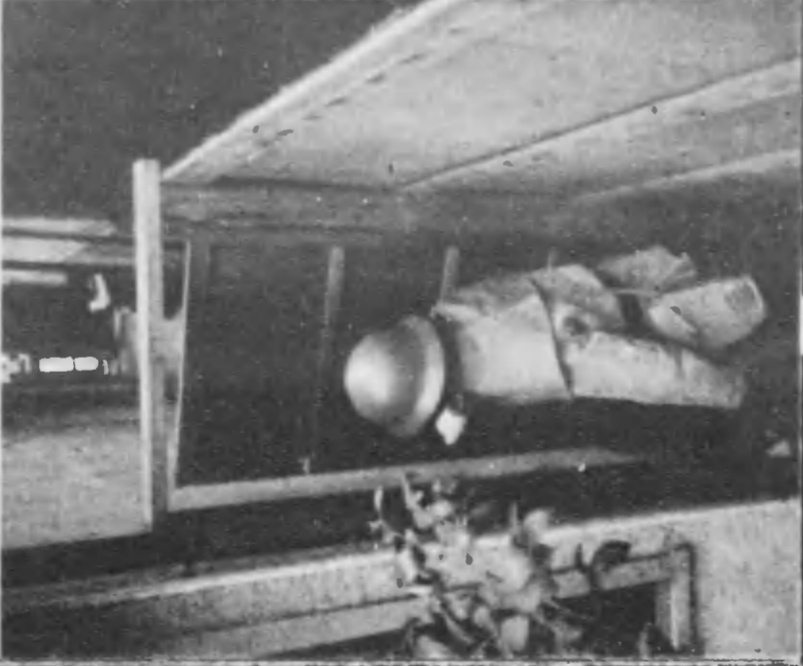
あつ、しまった。十分点検したつもりだったが、この時、自衛隊が外に出し放をし、それに驚いて、すつてんとなり……準備はば、念を入れよ

待避  
 十二秒以内

さあ、戦闘配置はききたあは、日頃の認真見せられた敵の襲撃からわが家を守る。健闘する。國を守るのだ



家の中の機銃や障子を取りはづして邪魔にならない所は片付けるか、開放する



門、食庫、物置などの鍵をはづし隣家との通路を断れず開放する

七分以内

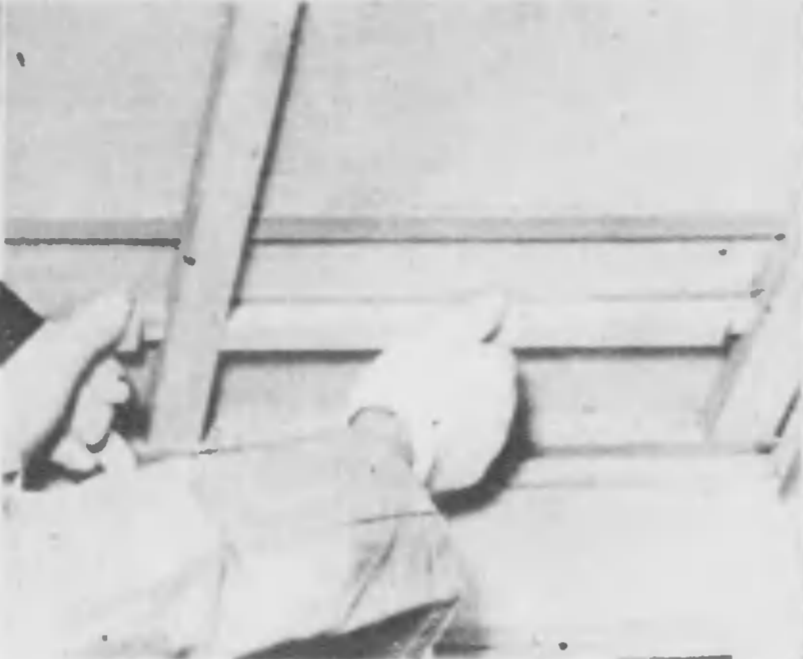
十分以内



お父さんは

暗闇の中で、迅速にまた空襲は防空限界を越へることが大切だ

三分



用戸やガラス戸の鍵を必ず外す隣家に接しないガラス戸は、なるべく取りはづす

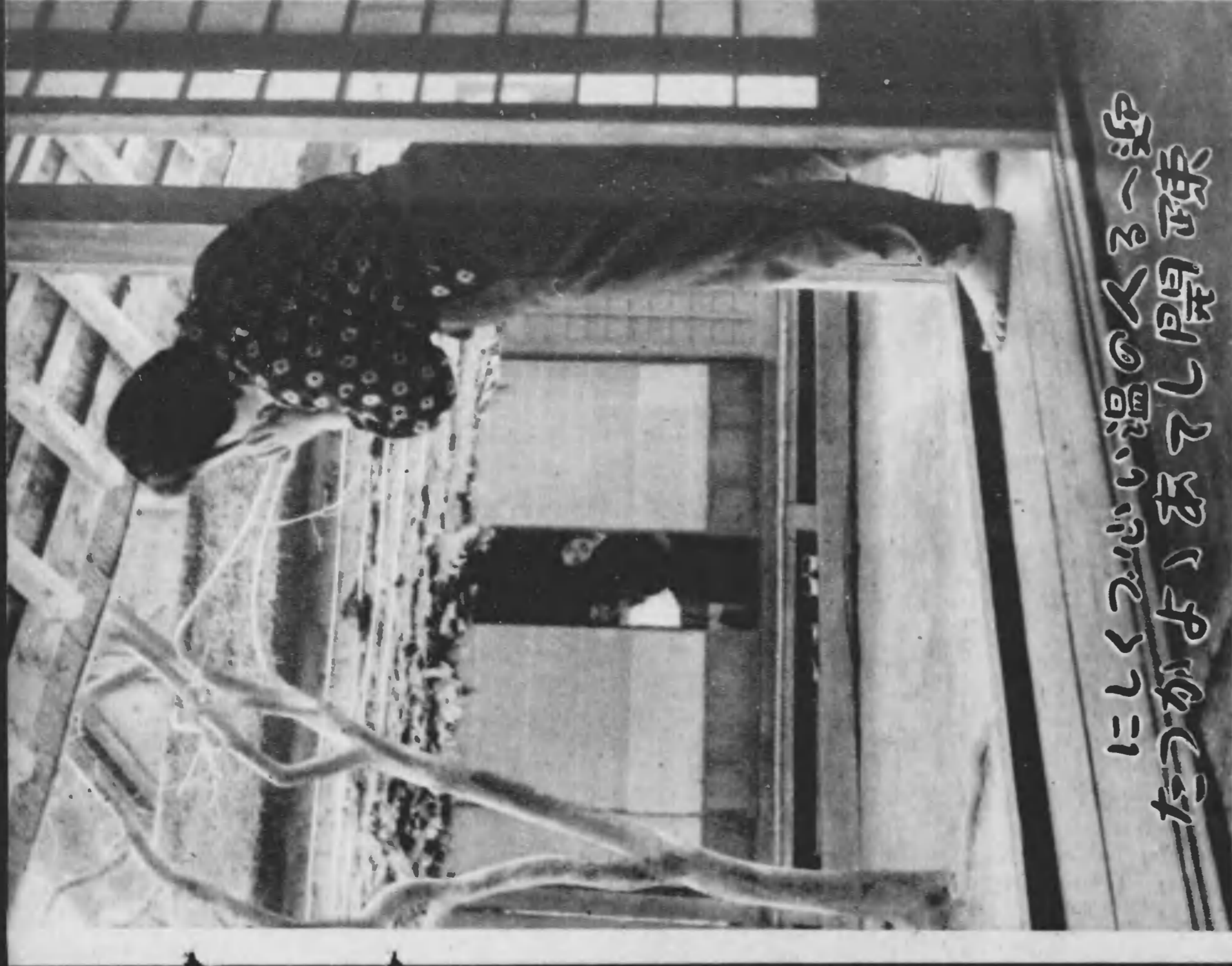


か、開放する。開放した場合、用戸や機銃がついておれば、ガラス戸のある部分だけれまひく

十分以内

五十分以内  
 待避所へ





にしくつこい温の人るへ迎  
たががよゝびアし開疎

まづいものでもらうから一匹、言葉一方の言辭恐しで  
さあ、何の気遣いもありませんよ、物事も近所の人たち  
に測んでもらって身振に漸らしい郷土の土を聞んだその  
後他人行儀を捨てたにた楽しい開疎がうらつく

がが土気近所づきあひのおしるしに  
心もあら村人になりきつて組内への挨拶  
まはり、郷土へ贈けとむ心解へが郷落の  
人たちにも身近かな印象を刻みこむ

「姉さんお風呂があきました  
「姉さんお茶をいただきます  
置寮を改築した陣のひと間、不便な生活だが、  
陣の人たちの親切が心細さをなくしてくれる



山梨縣陸合村

「雨降さへ凄ければたとへて小屋でも」といふ  
疎開者のしつかりした心解へ「手をとつて心細さを  
なくしてやる」受入側の温い思ひやり。それさ  
へあれば疎開の受入れは必ずうまくゆく  
同じ日本國民が日本國內に疎開するのである。  
しかもこの疎開によつて都市の防衛は鞏固となり  
同時に日本全體の實力が増強されるといふのであ  
れば文句のあらう筈はない

富士身振線内結野を山あひへ西に人る山梨縣の  
陸合村は、その名が平手やりに昔から村々輪が一つに  
結びあつてもかごとといふものを知らない和  
やかな村であるだけに、三月十五日を期して疎下  
一斉に開かれ疎開受入れのまごころ常會でも村  
の人たちの意見はみんな同じだつた。「お國のた  
めに勤めねば犠牲を忍んでくる人たちが、氣持よく  
迎へ入れて一緒に仲良く働かう

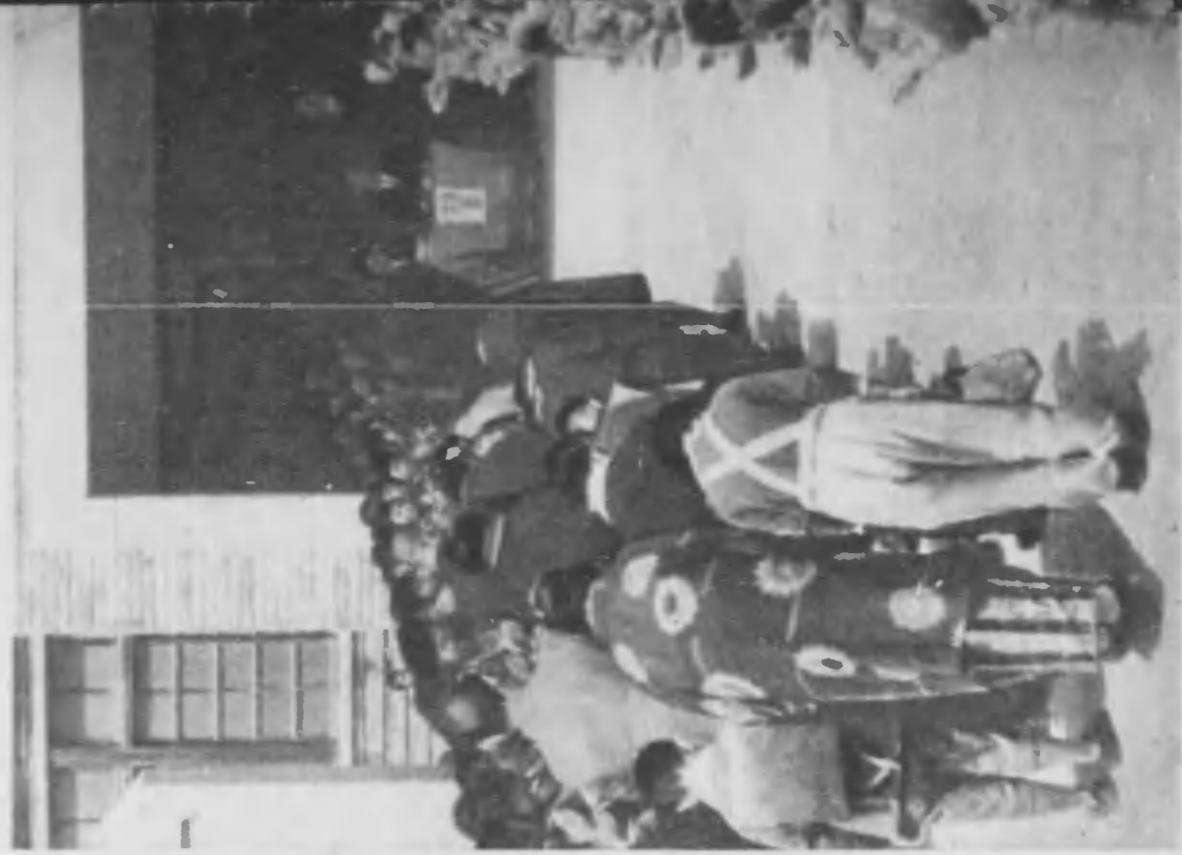
その日から、酒場が改築される、郷土に仕切戸  
が立てられる、置寮の一部が取片付けられる。村  
役場の疎開者収容室設置は春陽に伸びる麥畑のや  
うにぐんぐんと伸びて行つた

そしていま、四十名世帯百四十九名の疎開者を  
呼び寄せたこの村は、さらに熱く迎へて農村とし  
ての健全さをいよゝく強化して春の増産に邁進  
してゐる

「疎開は勝つための戦術配置である」疎開する者  
に受入れる者にこの正しい認識のある限り疎開の  
受入れは必ずうまくゆく、その一例を陸合村の現  
状報告に附してみる

「無は近づく事はなせは...  
知らぬ土情でも住んでみれば情は自然にうつるも  
の。自分自身の準備もできて土に親しむきのふけ  
ぶを、専攻の主人にも知らせませう」

「おいそれとはいかぬが、軍事ほどに準備さ  
れてゐない田舎の配給制度では精神一杯の好意にち  
がひない。疎開者をまごつかせるやうなことのな  
いやうに優先配給の仕組みもできてゐて」



「けふから僕らもお仲間、一坪の良い汁をた  
の拍手に迎へられて疎開準備の入門式。村の  
名所の案内や整理會の手むきなどは、良い子  
たちの魂は早くもしつかりと結ばれる



「わらび、ぜんまい、いたどりなど、春の野草の  
勢清ひ。けふは在生に連れられて地元の野菜  
と地味に上ほくらの學校は種のは  
の栽培は光のお慶

# 郵便小包に走 決戦の心がけ



郵便は国家の活動に於いて、また私達の生活に於いて、最も大切なもの、最も必要不可欠なものである。わが国の郵便は早いこと正確なことで世界に誇つてゐるが、近頃ではいろいろの原因が重なり合つて中々意にまかせない状態です。そこで、その原因がどこにあるかをさぐり、今改正された郵便制度の主なものを復習する。決戦郵便の認識をふかめさせよう。

**郵便物の種類**—すべての郵便物は門と門に等しい。つまりは人との不足のため、事務活動が困難にゆかないのです。優秀な技術と経験をもちゐる大勢の人が、兵隊として第一線に立ち、或は大隊や兩方の戦線に赴いたあとには、また未熟の人々が日に食つて努力してゐるもの、間に合いません、従つてしぜん配当も減り、その上機械自動車の不足、故障、修理の不円滑、燃料の不足、修理に代つて郵便車をつないでゐる状態は減りましたし、バスも減つた等々がその原因となつてゐます。

**通常郵便は、一年に四十五六億通**を取扱つてゐますが、一番多いです。年に約二百九十通を出してゐることになります。しかも近頃ではこの数がまた更に倍増する一方運送が異常に遅くなりました。運送は通常郵便から多少早くはなるのですが、これに要する手数料は大へんなものです。

**郵便物制度は改正されましたが、新しく料金率制度ができました。これは同一差出人から同時に五十額以上を毎月五額以上差し出す各郵便物の料金を一月ごとに取まとめ、翌月の二十日までに現金でおさめればよい制度です。これによつて今までの郵便物制度はなくなる**

ましたから、今度の料金率制度を希望する人はあたらしく郵便局にとりまめしなければなりません。

**往復郵便**はこれから私でもよいことになり、また郵便物に封紙、封筒の配達証明、別配送等の制度は、自分のうち取扱ひは停止されました。小包は、郵便物の殆んど大半を占めてゐますが、従って最近も増加してきました。しかも郵便物の小包の八割までが郵便物止品に属

**これらの品物は送れません**

毒薬、食料、豆、米、酒、タバコ、香水、化粧品、その他危険物、腐敗物、悪臭物、害虫等。

した品物です。今度、かりと本改正されるには差出人に取扱ひせられ、罰のやうな料金を徴せられます。海外の寄附小包は、郵便物の扱いで、送られてゐます。また、おころは郵便物に不完全なために、差出人も郵便物の住所も不明にまつてしまふことが多いですから特に注意してください。また郵便小包をよめました。罰のやうに大へん手数料がかかりますから、従つて普通で送つて貰うたののです。従つて郵便局では従前の郵便物の扱いには、食品、飲料、日用品、書籍（別紙をのぞく）、扇子、紙、文具、郵便物の小包を禁止しました。

**従来禁止品定つたもの**

本館も専用、個人用のぞく）薬品、果物、魚介、酒類（発酵物のぞく）、味噌、漬物、醤油、味噌、麹、お茶、その他の酒類、生卵、生きた動物（鳥、魚、昆虫、爬虫類、両生類をのぞく）など。

従来は支那郵便物の初め本年と比べて五割も増加して、電文の長いものが多く、郵便物の増えとともに早いことが生命である電報の使命を妨害してゐます。ことに重要な電報の運送をすることは、従つては電力にもひびきますから、電報はごく必要なものだけとし、電文は簡便にした方がいいのです。また電力増強上、電業会社などで特に急ぐときは、電報の特例運送をして電報運送（普通郵便物の三倍）を利用して下さい。また一般電報料金は、従来のやうに改正されました。電話は、できるだけ重要方面に使用してもらふために、一般の電話は電力増強を要し、また不便になつた電話はぜひ休止して貰ふたいので、重要方面の使用と支障がある場合や、国士

せいすりひびおけの増えを倍する。小包に小上をもれを近づける。送る品物の種類

**普通小包** **手** **数**  $\times 6$  **三** **数** **留** **小包** **手** **数**

防物運送料、その運送型も電報運送料と同様に必要あるときは、一般の電話の料金を求めたり、または政府で一方的に削減したりすることがあります。このときは公定額で減額します。

**普通小包の料金率**

(一) 普通郵便物  
有封筒七割、無封筒三割、一往復六割、一往復七割、一往復八割、一往復九割、一往復十割、一往復十一割、一往復十二割、一往復十三割、一往復十四割、一往復十五割、一往復十六割、一往復十七割、一往復十八割、一往復十九割、一往復二十割。

(二) 小包郵便物  
一、三割、二、四割、三、五割、四、六割、五、七割、六、八割、七、九割、八、十割、九、十一割、十、十二割、十一、十三割、十二、十四割、十三、十五割、十四、十七割、十五、十九割、十六、二十一割、十七、二十三割、十八、二十五割、十九、二十七割、二十、二十九割、二十一、三十一割、二十二、三十三割、二十三、三十五割、二十四、三十七割、二十五、三十九割、二十六、四十一割、二十七、四十三割、二十八、四十五割、二十九、四十七割、三十、四十九割、三十一、五十一割、三十二、五十三割、三十三、五十五割、三十四、五十七割、三十五、五十九割、三十六、六十一割、三十七、六十三割、三十八、六十五割、三十九、六十七割、四十、六十九割、四十一、七十一割、四十二、七十三割、四十三、七十五割、四十四、七十七割、四十五、七十九割、四十六、八十一割、四十七、八十三割、四十八、八十五割、四十九、八十七割、五十、八十九割、五十一、九十一割、五十二、九十三割、五十三、九十五割、五十四、九十七割、五十五、九十九割、五十六、一〇割、五十七、一〇割、五十八、一〇割、五十九、一〇割、六十、一〇割、六十一、一〇割、六十二、一〇割、六十三、一〇割、六十四、一〇割、六十五、一〇割、六十六、一〇割、六十七、一〇割、六十八、一〇割、六十九、一〇割、七十、一〇割、七十一、一〇割、七十二、一〇割、七十三、一〇割、七十四、一〇割、七十五、一〇割、七十六、一〇割、七十七、一〇割、七十八、一〇割、七十九、一〇割、八十、一〇割、八十一、一〇割、八十二、一〇割、八十三、一〇割、八十四、一〇割、八十五、一〇割、八十六、一〇割、八十七、一〇割、八十八、一〇割、八十九、一〇割、九十、一〇割、九十一、一〇割、九十二、一〇割、九十三、一〇割、九十四、一〇割、九十五、一〇割、九十六、一〇割、九十七、一〇割、九十八、一〇割、九十九、一〇割、百、一〇割。

(三) 特殊郵便物  
普通郵便物の二倍、三割増、四割増、五割増、六割増、七割増、八割増、九割増、十割増、十一割増、十二割増、十三割増、十四割増、十五割増、十六割増、十七割増、十八割増、十九割増、二十割増、二十一割増、二十二割増、二十三割増、二十四割増、二十五割増、二十六割増、二十七割増、二十八割増、二十九割増、三十割増、三十一割増、三十二割増、三十三割増、三十四割増、三十五割増、三十六割増、三十七割増、三十八割増、三十九割増、四十割増、四十一割増、四十二割増、四十三割増、四十四割増、四十五割増、四十六割増、四十七割増、四十八割増、四十九割増、五十割増、五十一割増、五十二割増、五十三割増、五十四割増、五十五割増、五十六割増、五十七割増、五十八割増、五十九割増、六十割増、六十一割増、六十二割増、六十三割増、六十四割増、六十五割増、六十六割増、六十七割増、六十八割増、六十九割増、七十割増、七十一割増、七十二割増、七十三割増、七十四割増、七十五割増、七十六割増、七十七割増、七十八割増、七十九割増、八十割増、八十一割増、八十二割増、八十三割増、八十四割増、八十五割増、八十六割増、八十七割増、八十八割増、八十九割増、九十割増、九十一割増、九十二割増、九十三割増、九十四割増、九十五割増、九十六割増、九十七割増、九十八割増、九十九割増、百割増。

(四) 一般郵便物  
普通郵便物の二倍、三割増、四割増、五割増、六割増、七割増、八割増、九割増、十割増、十一割増、十二割増、十三割増、十四割増、十五割増、十六割増、十七割増、十八割増、十九割増、二十割増、二十一割増、二十二割増、二十三割増、二十四割増、二十五割増、二十六割増、二十七割増、二十八割増、二十九割増、三十割増、三十一割増、三十二割増、三十三割増、三十四割増、三十五割増、三十六割増、三十七割増、三十八割増、三十九割増、四十割増、四十一割増、四十二割増、四十三割増、四十四割増、四十五割増、四十六割増、四十七割増、四十八割増、四十九割増、五十割増、五十一割増、五十二割増、五十三割増、五十四割増、五十五割増、五十六割増、五十七割増、五十八割増、五十九割増、六十割増、六十一割増、六十二割増、六十三割増、六十四割増、六十五割増、六十六割増、六十七割増、六十八割増、六十九割増、七十割増、七十一割増、七十二割増、七十三割増、七十四割増、七十五割増、七十六割増、七十七割増、七十八割増、七十九割増、八十割増、八十一割増、八十二割増、八十三割増、八十四割増、八十五割増、八十六割増、八十七割増、八十八割増、八十九割増、九十割増、九十一割増、九十二割増、九十三割増、九十四割増、九十五割増、九十六割増、九十七割増、九十八割増、九十九割増、百割増。

(五) 電報料  
電報料金は、公定額と同じです。

**包小がでま割七の物便郵全**

全郵便物の七割までが郵便物止品に属する。小包に小上をもれを近づける。送る品物の種類

**暗闇も見える機械**

暗闇でも、ものが見えるのは、大げなもので、人間は何も見えません。しかし、暗闇でもものは見えたいと願つてゐる。郵便物の運送に必要のないわけで、今日ではある機械を使つて、立派なものが見えるのです。

ではどんな機械でせうか。もちろん、これには種々と仕掛がいろいろあります。先づ見ようとする相手のものが、紫外線か赤外線を出しものなら、そのままよいのですが、何も出さないものだから、見ようとする方から紫外線か赤外線を照射します。つまり見ようとするものから紫外線か赤外線が来るやうにしておきます。ところでこれらの光線は、私達の肉眼には光として感じない、いはゆる不可見光線ですから、たとへ見ようとするものから紫外線か赤外線が私達の目に入つても何も感じません。相違するものをつけると、レンズ系の空中に特殊なガラス板を入れた特殊な機械を使ふと、たまたまは、つきり見えるやうになります。

この特殊な機械といふのは、ガラス板の一面に特殊な材料を塗つたもので、これに紫外線または赤外線が当たると、下層ガラス板を通して見る時の発光線の色や、特殊な色（例へば緑色とか紫色）を出しますから、特殊な眼鏡で見ればつきり見えるのです。

しかし、紫外線などの光が弱いと、発光線が強くは見えませんから、紫外線を出さずとも、赤外線を出せばいいのを見るのに不便です。そんな時には、特殊な装置を用いた特殊な装置の「暗闇で見える」装置を使ふと、つきり見えます。

くちやみでものを見る機械など、暗闇、そんな手紙をかき、電燈でもつけて明るくして見たらよさうなもの、と皆さんは思ふでしょう。しかし、この暗闇でものを見る機械は軍事上非常に大切なものです。

日本海軍の時、わが本艦隊が東軍艦隊を行つて敵艦をいためつたことは、皆さんもよく知つてゐるでせう。あの頃は、まだ暗闇でものを見る機械が発明されておなかつたので、敵も味方も暗闇の中を逃げつて、暗闇の中を逃げつたのです。今、この暗闇でものを見る機械がどんな方面で活躍してゐるかは判りませんが、軍に別々の活躍は、大いに期待されてゐます。

コレヒドールの敗戦が陥落すると間もなく戦場の整理がはじまった。整理といふのは取片附の作業であるが、何しろ四月から五月にかけてのひと月あまり、立てつけの爆撃と砲撃をうけたコレヒドール島は、要塞設備が見るも無残にうち壊れておるだけでなく、木も草も枯れつくして満足な形を残してあるものは何一つなかつた。しかし、自然の生命力は、ほとんど手のつけやうもないほど荒廃しつくした大地の底にあふれ、みる／＼と立ちあがり、再びあがってきた。横倒しになった芭蕉の根もとから、朝の陽さしに透きとほるやうな嫩緑の色がキラ／＼と輝きだしたと思ふと、既つ黒く焼け爛れてゐる椰子の木の下からも小さな芽が顔を覗かせる。マリベレスの丘の上から眺めると、緑茶けた土肌をひきだしにした栗山のやうに見えるコレヒドールの要害が再び全島を緑の若葉によつて抱ひつ

くされるまでは一ト月とかいらなかつた。しかし、地上勤務隊の作業は絶え間なしにいついてゐた。モアロをかついでマリンタ高地の坂をのぼつたりおろしたりしてゐる兵士の姿も若葉のかけにいそ／＼と動いて、見るからに忙しさをあらわす。『おい、おれはさつきから妙なことを考へちやつたんだが、一人の男が湖の汗を拭きながら、うしろの同僚たちを振りかへつた。『モアロをかついで土を運ぶといふ作業は、神武天皇の御東征の頃からおなじことをやつてゐたんぢやないのかな？』となんにみなんだつと笑ひだしたが、しかし、何かすきんと明るく胸にひびくものがあつた。あらゆるものが機械力で駆りつづかされてゆく時代にこれだけは先祖傳來同じことをやつてゐたのかと思ふと、急に感傷的な気分になつてきたのである。

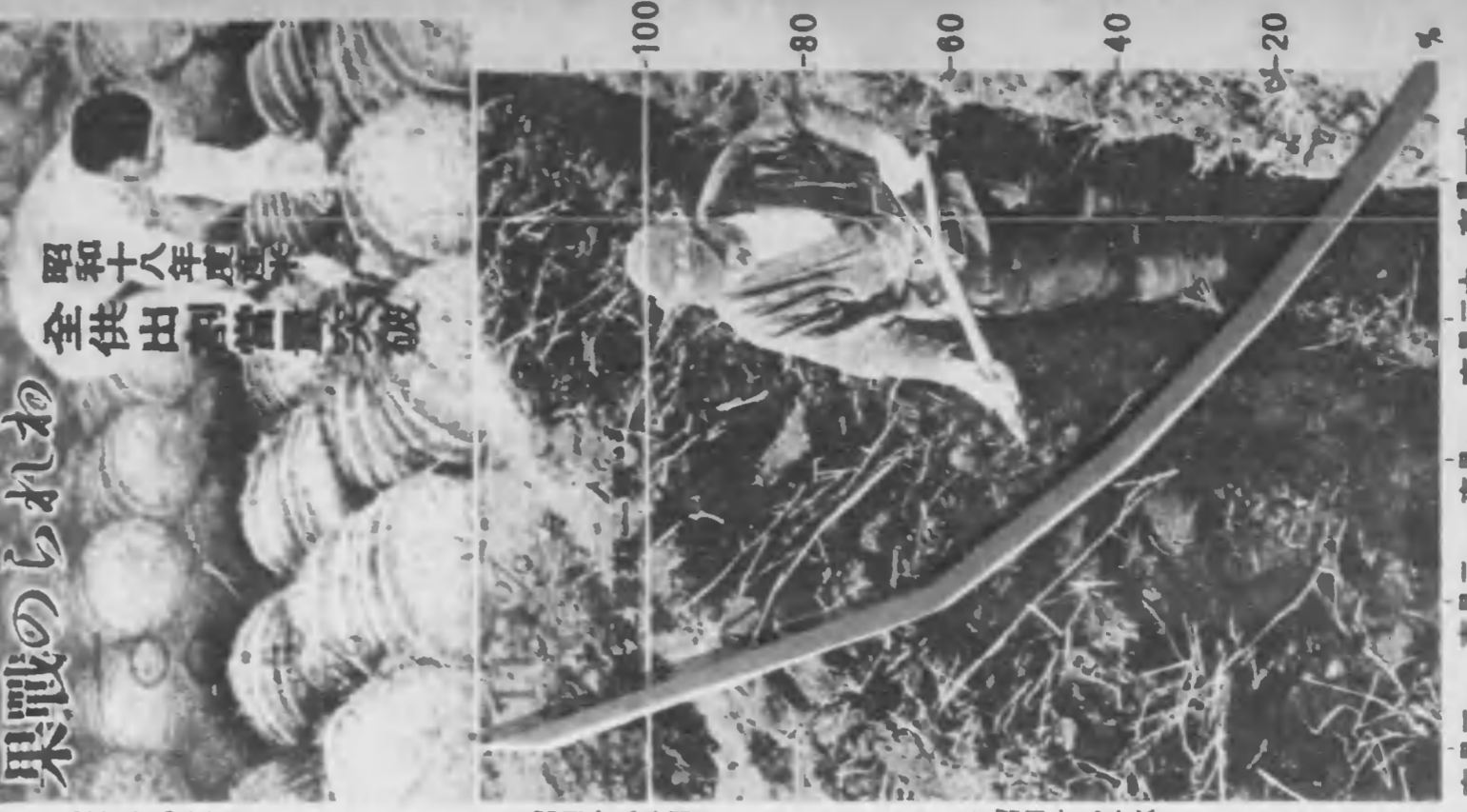
わかつた！

【一】とて東京から田舎に帰つてきた美さんは着片で洗濯をしながら、となりのおばさんに困つたやうにいひました。『こちらに移つてきてから右腕ばかりいつてもおちないです』と。『この頃の右腕はわるいであらうね』とおいづちをうち、『いえ、おばさん、この同じ右腕で東京ではとつてもよくおちたし、こんなにべたなつたわ』とふしきさうです。『どろろしたついでです』

決戦兄弟



出陣の準備は成つた。基地司令官、參謀を始め、基地の全員が、出陣の勇士を見送るべく集つて来る。『出陣用意』と艦長の厳なる命令。そして艦は、印度洋を一路西へ！ 既卒隊の補給路を撃つべく、悪苦の索敵行に出陣。既に生鮮食糧は盡き、勇士たちの食糧に上るのは、講話ばかりとなつた。『おれを運ぶ』の地帯にさしかつた時、突然艦橋から敵船発見の報告が入つた。艦は停航を開始し、砲台にツツのブザーがけだ、ましく鳴り響く！ 敵艦は七千トン級の貨物船、戦後の距離はますます迫る。『メートル。艦長の『撃て』の命令に、魚雷は海中に躍り出した。『秒、やがて息づまる魚雷を撃つて、さすまじい命中爆音が艦をゆするた轟轟！ 問答を人れず急遽浮上、敵艦はB・O・Sを撃つ、沈みゆく。幸先よしと艦は第二の魚雷を求めて、波滔を越え、突撃と闘ひ、敵艦の危険に曝されながら、更に西へ！ この映畫は、敵の補給路破壊に活躍する帝國新設潜水艦隊海軍報道班員として同乗を許された日誌記者が、その雄偉な印度洋作戦の状況を記録撮影したもので、潜水艦隊組員の真の勇武の姿と、遠しい戦意を委し、戦後國民士氣の昂揚に資するものとして、億國民必見の映畫である。



昭和十八年度農業全供出割當額之概

米約二〇万石、麥約二二〇万石の増産を目指し、全国に見る約九二万八千町歩の耕地改良、水田造成と、約六七万町の鐵道整備などの土地改良事業は約四億一千七百万圓の巨費を投じて去年秋から行はれてゐることは、本誌二月十二日(四〇四)號で報道しましたが、豫定量の二一三％に達する大戦果をあげて、三月末に第一期を終へた。また第二期の生産額は實に豫定量の六五％、節水排水といふ好成績で、以下三十六縣も豫定を突破し、そのほか四縣も豫定通り完成した。一日でも早ければそれだけ効果は大きいのであるから、この熱意と努力を以てさらに精進しようではないか。

A musical score for '突撃喇叭鳴り渡る' (The Charge of the Bugles). It includes a title, a key signature of one flat (B-flat major), a 2/4 time signature, and musical notation for voice and instruments. The lyrics are in Japanese and describe the excitement of battle.